

2025年度 福祉学部、マネジメント学部
学校推薦型選抜・指定校推薦型選抜問題

国語基礎問題

2024年11月実施

出題科目	ページ	解答番号
国語基礎問題（100点）	4～14	1 ～ 30

注意事項

- 1 選抜開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないこと。
- 2 問題は4～14ページである。
- 3 選抜中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - ① 選抜番号欄
必ず選抜番号（数字）を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
 - ② 氏名欄
氏名及びフリガナを記入しなさい。
- 5 必要事項欄及びマーク欄に正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあるので注意すること。
- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、 と表示のある問いに対して⑤と解答する場合は、次の(例)のように解答番号35の解答欄の ☐5☐ にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
35	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☒ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9 ☐ 10

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。

国語基礎問題

（
解答
番号

1

）

30

（

I 次の問いに答えなさい。

問一 次の **a**、**e** の下線部と同じ漢字を含むものを、次の各群の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **1** ～ **5**。

a 新商品のヒロウ

1

- ⑤ 書状をヒケンする。
④ ヒボンな才能。
③ ヒサイ者支援。
② ヒユ表現。
① 花粉のヒサン。

c エイイ努力する

3

- ⑤ 意見をハンエイ。
④ 要人をゴエイ。
③ エイネン勤続。
② ダイエイ帝国。
① 新進キエイ。

e フオンな行動

5

- ⑤ オンケイに預かる。
④ 満員オンレイ。
③ オンワな人柄。
② オンビンに進める。
① オンシン不通。

b シンラツな言葉

2

- ⑤ クッシン運動。
④ シンキ臭い。
③ シンコウ勢力。
② シンチョウを期する。
① カクシンに迫る。

d 縦横ムジン

4

- ⑤ ゲキジン災害。
② 福祉にジンリョク。
③ 医はジンジュツ。
④ ジンソクな対応。
⑤ ホウドウジンの取材。

問二 次のf、jの語句の読み方として正しいものを、次の各群の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

解答番号はf―**6**、g―**7**、h―**8**、i―**9**、j―**10**。

f	毀誉	① キソン	② キホン	③ ボクホ	④ トウホン	⑤ キヨ
g	聴聞	① シュウモン	② チョウブン	③ チョウモン	④ シュウブン	⑤ チョウジ
h	铸造	① チュウゾウ	② タンゾウ	③ ジュソウ	④ イヅクリ	⑤ シュヅクリ
i	嫡子	① テキコ	② ショウシ	③ チャクシ	④ ツグコ	⑤ カナコ
j	恭しい	① タケダケ	② ウヤウヤ	③ ソウゾウ	④ ハナハダ	⑤ ギョウギョウ

問三 次のk、oのことわざや慣用句がそれぞれ示す意味の言葉となるよう「○」に入る適当な言葉を、次の各群の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号はk―**11**、l―**12**、m―**13**、n―**14**、o―**15**。

k ○の涙…【意味】ごくわずかなものの例え。

- ① 蟻 ② 蚤 のみ ③ 雀 ④ 猫 ⑤ 鬼

l ○○に掛ける…【意味】優劣などを比較する。

- ① 裁判 ② 篩 ふるい ③ 二股 ④ 天塩 ⑤ 天秤

m 元の○○○…【意味】いったん良くなったものが、再び元の悪い状態にもどること。

- ① 木阿弥 ② 世阿弥 ③ 観阿弥 ④ 本阿弥 ⑤ 能阿弥

n ○○の川流れ…【意味】あてもなくぶらぶらしている様子。

- ① 落葉 ② 瓢箪 ひょうたん ③ 河童 かっぱ ④ 丸太 ⑤ 法師

o 風邪は○○の長…【意味】たかが風邪と甘くみてはいけないこと。

- ① 百葉 ② 百疫 ③ 百難 ④ 百病 ⑤ 百悪

問四

次の p、t の意味が示す四字熟語を、後の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じものを繰り返し用いてはいけません。解答番号は p | 16、q | 17、r | 18、s | 19、t | 20。

p 【意味】やるべきことが沢山あり、非常に忙しいこと。

q 【意味】それはさておき。

r 【意味】悪いことが続いた後に幸運が開けること。

s 【意味】ずる賢い人のこと。

t 【意味】必要以上に世話を焼きすぎることに。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① 虎視眈々 | ② 閑話休題 | ③ 百花繚乱 | ④ 老婆心切 | ⑤ 心機一転 |
| ⑥ 海千山千 | ⑦ 一陽来復 | ⑧ 懇切丁寧 | ⑨ 八面六臂 | ⑩ 多事多端 |

II 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「カビの生えたような学問」という言葉があるが、私がやっているのは「カビが生える学問」である。私が主な研究材料にしている、いもち病というイネの病原菌は、子のう菌という真菌（カビ）に属している。カビの生えたような学問というと、狭く薄暗い研究室で白衣を着た学者が顕微鏡をのぞいているというようなイメージがあるが、この時代にあつてカビに興味をもつ研究者というのは、どことなくそれに通じるものがある。アメリカのカリフォルニア州にあるアシロマ会議場で（ここは1975年に国際的な遺伝子組み換え実験のガイドラインが打ち出されたことで有名なアシロマ会議が開かれた場所でもある）、2年に1度、世界中の「カビマニア」が一堂に会するFungal Genetics Conferenceという学会が開かれるが、その比較的小さな国際会議の木造の薄暗い会場には、どことなく **A** 古き良き時代のサイエンスの芳香が漂っている。

今さら言うまでもなく、現代では自明の善としていろいろなことが開かれていく方向に進んでいる。「開かれたこと」つまり情報の交換や物質の流通などが、物事の健全な発展のために必要なことは **a** を俟たない。* そういう意味では、この時代は過去と比べて本当に恵まれていると思う。 **B** 大陸間の移動でさえ、豊かな国では普通の庶民が無理なく行えるようになり、欲しいと思う情報のほとんどはインターネットやテレビなどの通信手段によって手に入る。こういう「開かれたこと」が現代社会の基礎を作り、その発展に大いに寄与していることは、もう圧倒的に明らかなことである。

けれど、一方で私が最近とみに思うのは、もつと「閉じられたこと」というものの大切さが意識されても良いということだ。昨今の風潮は、「閉じられたこと」の持つエネルギーや密度について、あまりに無 **b** になっっているような気がする。開かれたということを、誰の目にも見て分かる「昼の力」とするなら、閉じられたことは、簡単には見えない「夜の力」みたいなものだ。基本的に純度のあるものは、閉じられているから存在できる。 **①** 赤い絵の具を池の中に落とせば、その色はなくなってしまう。どんなものであっても、その偏りや純度を保つためには閉じられた時空間が必須だ。そのことの意義は意外に大きいと思う。

その文脈で言えば、昔、日本は島国で鎖国までしていた。その閉じられた時空間の中で、日本の文化というのは育まれてきた。 **②** ちよんまげや羽織袴、刀、お城そして日本語、そういうものが、その文化の中である種の密度を持ち存在した。しかし、明治以後、多くのものを開き、西洋文化を取り入れてきたことで、たとえば着物文化というようなものは、その内在的な文化としての何か大切な力を失ってしまったように見える。こんなことを言うのも不 **c** かも知れないが、以前は、もし日本という国が圧倒的な軍事力を持ち、世界を **d** していたら、世界のみんなが着物を着るようなことになつていたら、そんな未来の世界の姿の一つとなる可能性を内包する密度と力を持つて存在していたと思う。しかし、残念ながら現在ではすでに着物に、そういった未来の世界の姿を担うだけの密度はないような感じがする。垣根を取り払い開かれたことで、相対的に弱い文化が密度を失い力をなくしていく。この日本語という言葉も、日本人の英語下手という壁に守られ、現在はまだ生命力のある言葉として存在しているが、幼い頃からの英語教育が盛ん

になり、大学の授業は英語だ、社内の公用語は英語だ、といった状況が進んでいけば、かつてのネイティブアメリカンやマヤの人たちの言葉が実質的に失われていったように、日本語という文化も一部の収集家によって保存されるだけのものになっていくのかも知れない。

C 英語を第二公用語にしようと

いうような話が持ち上がる我が国であるから、それもまったくあり得ない話ではない。「ア」

もちろん着物も日本語もローカルな文化で、そんなものに執着する必要はないという人もいるだろう。私も特に着物を着たいとは思わない方だが、私
③ がここで問題としているのは、文化的アイデンティティーとか愛国心とか、そういうことは少し違う。たとえばガラパゴス諸島やオーストラリア大陸で、独自の進化が起こり、我々から見ると奇妙な生物たちが繁栄したのは、これらの地域が地理的に隔離されていたことが最も重要な要素だったことは疑う余地がない。「閉じられたこと」が、その時主流となっている事象と、その亜種や改良版ではない、まったく違った形の生き物や文化を生む母体となつてゐるのだ。「閉じられたこと」には、そういう力があるのではないかと思う。

何の形も境界もない混沌の中から、何かが形を作っていく時。そしてそれが醸熟し、萌芽ほうがしていく時。そこでは、わずかな風が外から吹き込むのも嫌がるような、外界とのつながりが一旦遮断された、濃密で、閉鎖的な時空間が必要とされることがあるのかも知れない。そういえば子宮もある意味、閉じられた空間だ。そのイメージの延長線上にある。

こういった考え方は、本当に新しいものが求められる芸術の世界では古くから大切にされてきた。秘められた感情、抑圧された情熱、そういった簡単には人に話せない、
④ 心の奥に封じ込まれた物語が洗練され、閉じられた空間から一気に日の当たる場所に解放される時、多くの人を感動させる力を持った芸術になる。「閉じられたこと」が生む、ある種の偏り、純度の高さ、内圧のようなエネルギーの蓄積。描いては消し、消しては描く、その無駄で贅ぜい沢な作業。そして「小さな世界」の genesis。^(注1)「イ」

閉じられたことは、育てること、に通じてゐる。他と混じつてしまえば、蹴散らされてしまうようなもの、色が消えてしまうようなものが、閉じられた空間だからこそ成長でき、成熟し、ある種の「世界」を作りあげることが可能となるのだ。

グローバルゼーションだ、グローバルスタンダードと言うが、あらゆるものを混せて競わせれば、その結果、生き残るのは競争力や戦闘力という「偏った特徴」が強いものばかりになる。競争で選抜されるのは、実は限られた観点から見た優位性である。戦争に強い民族が、常に病気に強い訳でも、絵が上手い訳でも、足が速い訳でも、他人への思いやりに溢れている訳でもない。一つの観点で強い選択圧をかけてしまえば、その陰で多様で独自の特色を持った多くの形質が失われてしまいかねない。「ウ」

あるいは経済で言えば、「消費者により良いものをより安く届ける」ことが天上天下唯一無二の正義のように言われているが、より安くを追求すれば、最も優れた企業とは、人件費がゼロ、つまり奴隷を使う企業である。社員を、あるいは国民を、どこまで奴隷に近づけることができるか、そんな競争をしてはいないだろうか？ 非関税障壁はなくすべきだ、みんなが同じように競争し、容易に理解し合えるようにすべきだと言えば、世界中の言葉は英語

だけでいい。独自の文化は基本的にすべて非関税障壁である。ほんのちよつとばかり安いものを手に入れるために自分たちの文化を捨てるべきかどうか、少し頭を冷やして考えれば、すぐに分かることではないか？ 「エ」

人類は、ある意味、世界の各地にある小さな閉じられた空間の中で、多くの独自の文化や社会の豊かさを育んできた。かつては世界のあちらこちらに、閉じられた袋があり、それを開けるたびに独自の文化や物語が見つかり、そこに新鮮な驚きがあったのだ。それらは長い時間をかけて、その場所で、醸成されてきたからこそ独自のものだった。世界が開かれ、世界中の子どもがデイズニーしか見なくなつたとして、そこに本当に新しい物語を作る力が、果たして残っているのだろうか？

そして今、大学もそういったグローバル化の中にある。今の大学は「閉じられた時空間」などという贅沢なものと本当に無縁の世界になっている。何かが育つのを待つようなゆつくりとした時間や空間はない。たくさん情報が流れ込み、それに対する多くの出力がすぐに要求される。目の前にあることをとりあえず「こなす」ことで、時間が過ぎてゆく。一つ一つの事項を取れば、文句を言う筋合いはない「必要で大切な」案件が並ぶ。「オ」

⑤ 昼と夜が交互に来るように、洪水のように流れてくる情報を、もう一度静かな、小さな空間の中で動きを止め、遅々としても密度のあるものに練り直す、そういう作業が可能だろうか？ そのために私たちは何をすべきなのだろうか？ 「カ」

カビの胞子が発芽する。菌糸が伸びて、ビロードの絨毯のように幾重にも重なった、びっしりとした菌糸のマットが少しいびつな円形のコロニーを作る。先端の白い菌糸から内側の灰色の菌糸へ移相するグラデーションと(注3)その僅かな菌糸の濃淡が規則的な幾何学模様を作り、その上に白い気中菌糸が立体的で規則性の捉えがたい複雑な形を描いていく。わずかに直径9センチメートルのシャーレの小さな閉じられた空間で、カビが「世界」を作っている。シャーレのフタを開けた時、吹き出すような香りがする。「カビが生える学問」の薫りだ。

(なかやしきひとし
(中屋敷均『科学と非科学 その正体を探る』による)

(注) 1 genesis……発生。起源。旧約聖書の「創世記」のこと。

2 コロニー……群棲。
(ぐんせい)

3 グラデーション……色が徐々に変化していく、その段階や様相。

4 気中菌糸……空気中に伸びる菌糸。

問一 空欄 a へに入れるのに最も適当な語を、次の各群の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

a | 21、b | 22、c | 23、d | 24。

a
21
⑤ ④ ③ ② ①
意 声 筆 論 手

b
22
⑤ ④ ③ ② ①
邪気 防備 慈悲 気力 頓着

c
23
⑤ ④ ③ ② ①
透明 謹慎 信心 義理 案内

d
24
⑤ ④ ③ ② ①
幹旋 あっせん 攪乱 かくらん 闊達 謳歌 おうか 席巻 せっけん

問二 次の文は、もともと本文中にあったものである。元に戻すとしたら、本文中の「ア」へ「カ」のどこに入れるのが最も適当か。次の中から一つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 25。

しかし、これが全体として見れば、まったく不毛で本末転倒なことに限りなく近づいているのは、一体どうしてなのだろうか？

① 「ア」 ② 「イ」 ③ 「ウ」 ④ 「エ」 ⑤ 「オ」 ⑥ 「カ」

問三 二重傍線部①～⑤の中には、本文の趣旨から考えて異質なものが一つある。その番号をマークしなさい。解答番号は 26。

- ① 赤い絵の具
- ② ちょんまげ
- ③ 我々から見ると奇妙な生物たち
- ④ 心の奥に封じ込まれた物語
- ⑤ 昼と夜

問四

傍線部 A 「古き良き時代のサイエンス」とあるが、本文の趣旨に即して考えた場合、そこにはどのような考え方があったといえるか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 27。

- ① たとえ一般の人々には理解できなくても、同好の士にとって興味深いものに感じられる研究であれば、それが豊かな成果を生み出す可能性をもつとする考え方。
- ② 学会のような閉じられた場での研究に終始するのではなく、開かれた研究を目指すことで、昔ながらの研究も最先端のものに転化していくはずだとする考え方。
- ③ 濃密で閉鎖的な時空間のなかで、熱意ある学者たちが試行錯誤を繰り返しながら研究を続けていくことではじめて、独自のものや新しいものが醸成されたとする考え方。
- ④ グローバル化という状況の下で学問が開かれていくような潮流にあえて抗^{あらが}い、一つの国の独自の文化のなかで閉じられた研究を行っていくことにこそ意義があるとする考え方。
- ⑤ 外部から流れ込んでくる多くの情報を、閉じられた世界のなかに受け入れ時間をかけて検証し、それらを新たな情報に組み替えて、開かれた世界へと解き放っていくべきだとする考え方。

問五

傍線部 B「大陸間の移動でさえ……手に入る」とあるが、筆者はこうした現代社会のあり方についてどう考えているか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 28。

- ① あらゆるものを混せて競わせるという傾向を生じさせることになり、消費者や企業をないがしろにしてまでも経済的な発展ばかりが追求されるという歪んだ事態を招いてしまっている。
- ② さまざまな物事の発展に寄与するものではあるが、閉じられたことを軽視するあまり、かつては圧倒的な影響力をもっていた日本文化を、いつのまにか弱い文化へと変えてしまうことになった。
- ③ 開かれたことが現代社会の発展に大きく貢献しているという事実を世に知らしめることになったが、そうした状況のなかでおの自ずと人々は、閉じられたことの大切さを意識するようになってきている。
- ④ 社会の発展を促すという点では否定できないが、経済的な効率性や、限定的な意味での優位性ばかりを競わせるような状況を生んでおり、結果的に多様で独自の文化などを失わせることになりかねない。
- ⑤ 世界全体で標準となるものを定めようとしたが、その結果として偏った特徴をもつものだけが生き残ることになり、各地の閉じられた文化の偏りを是正しようとする動きを頓挫させることになってしまった。

問六

傍線部C「英語を第二公用語にしようというような話が持ち上がる」とあるが、その理由を説明したものとして最も適当なものを、次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 29。

- ① 日本が国際的な競争にさらされるなかで、独自の自文化を大切にするより、文化間の壁を取り払ってでも競争に生き残っていくべきだといった考え方が力をもつようになったから。
- ② 日本語という文化が一部の人々によって保存されるだけのものになっている状況下において、大学の授業や企業内で用いる言葉を英語にしようとする動きが広まってきているから。
- ③ 日本人の英語下手という壁に守られなんとか生命を保ってきた日本語も、幼い頃からの英語教育が行われるようになり英語の堪能な人々が増えていくにつれ、その生命を失いつつあるから。
- ④ グローバリゼーションの影響下で国際社会が一つの閉じられた世界となり、そこで英語が一般的な言葉として用いられるという現状が生じるなかで、日本もそれに合わせようとするようになったから。
- ⑤ 開かれた言葉も閉じられた言葉と同じく重要だとする考え方が広まっていくにつれ、日本語教育だけでなく英語教育にも力を入れるべきだという考え方が、社会のなかで自明とされるようになってきたから。

問七

本文についての説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **30**。

- ① “開かれたこと”と“閉じられたこと”とを対比させ、後者の重要性を説きつつ、無意味なものでしかない前者にとらわれている現代人に警鐘を鳴らしている。
- ② 基本的には科学や学問について論じたものだが、“閉じられたこと”に可能性を見出そうとする筆者の思考の射程は、科学や学問を超えたところにも及んでいる。
- ③ 筆者の個人的な体験に即して望ましい学問のあり方を示したうえで、そうしたあり方が文化や経済などに対しても応用できるか否かという問題について詳細に検討している。
- ④ かつての学問や日本文化に対する筆者の郷愁がさりげなく示されているが、それにとどまることなく、古き良き時代に回帰するためのさまざまな具体的方策をも提示している。
- ⑤ 「カビの生えたような学問」と「カビが生える学問」との微妙な相違について指摘したうえで、前者を“開かれたこと”と、後者を“閉じられたこと”と重ね合わせつつ考察を行っている。

2025 年度 福祉・マネジメント学部 推薦選抜 国語基礎問題（マークシート式・60分・100点）

大問	小問	細分	正解	配点	大問	小問	細分	正解	配点
I	問一	1	⑤	2点	I	問四	16	③	3点
		2	④	2点			17	⑤	3点
		3	①	2点			18	①	3点
		4	②	2点			19	②	3点
		5	②	2点			20	④	3点
	問二	6	⑤	2点	II	問一	21	②	3点
		7	③	2点			22	①	3点
		8	①	2点			23	④	3点
		9	③	2点			24	①	3点
		10	②	2点		問二	25	⑤	5点
	問三	11	⑩	3点		問三	26	⑤	6点
		12	②	3点		問四	27	③	7点
		13	⑦	3点		問五	28	④	7点
		14	⑥	3点		問六	29	①	6点
		15	④	3点		問七	30	②	7点